
東海学院大学短期大学部の教育方針

(平成 28・27 年度入学者対象)

1. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成に関する方針）

教育課程は、前期及び後期の2学期制をとっています。前期及び後期は、卒業の要件に算入される教養教育科目、専門教育科目及び自由科目によって教育課程が編成され、レベルや年次を考慮した体系的かつバランスのとれた科目配置をしています。

(1) 教養教育科目

専門教育だけに偏ることなく幅広い教養と的確な判断力を養うとともに、人間性の涵養を図ることを目的とした科目であり、東海学院大学との垣根を外し、多数の科目を開講しています。

「建学の精神」を必修科目として開講するほか、学科において必要と考える独自の科目を開講しています。

「建学の精神」は、学長が主に担当し、学士課程への円滑な移行に必要な教育及び専門への導入のための基礎段階の講義科目です。

(2) 専門教育科目

学科の掲げる目的及び養成する人材を育成するため、講義、演習、実験・実習及び実技科目によって専門知識を学び、技術を身につけることができます。開講科目は、基礎的な科目から応用・発展的な科目へと移行し、免許・資格取得につながるよう、目標・進路に応じた教育課程になっています。

(3) 自由科目

本学独自の自由科目を開講し、単位を認定しています。

自由科目のめざすところは、学生の主体的・自立的な「自己教育力」の開発・伸長を期待して、「教えこむ」という面より「学びとる」という面を強調するとともに、学生が健康で充実した学生生活を過ごし、卒業時に必要とされる「学士力」や「社会人基礎力」を修得させるもので、通常のカリキュラムでは実施できない内容を盛り込んでいます。

よって、個々の学生の多様な学習欲求や社会からの要望に対応して、以下の内容を主とする自由科目を構成し、学生に多様な選択の機会を与え、バランスのとれた人間教育を行うものです。

- ① 学生の内発的要求にかなうもの
- ② 共同研究やフィールドワークなどを通じて協調性や指導力などの資質を磨くもの
- ③ 情報を正しく収集して現実の社会を理解する力を身につけるもの
- ④ 学生の健康・体力づくりを支援するもの
- ⑤ 専門分野の研究などを通じて自己と社会との関わりについて考えを深め、前に踏み出す力となるもの
- ⑥ 望ましい職業観・勤労観、職業に関する知識・技能、進路選択に必要な能力や心構えを養うもの

・全学プログラム

東海学院大学との統合プログラムの特長を活かして、「教養講座（講義、実習）」「健康・体力づくり講座（実技）」「資格対策講座」「キャリア教育講座」「特別講座」「研究プロジェクト提供講座」及び「リメディアル教育講座」を全学生対象に開講しています。

・学科プログラム

学科の特性を活かして、学生の学力の充実・伸長に役立ち、専門分野の研究を通じて自己と社会との関わりについて考えを深められ、また取得した資格・免許が社会の第一線で活かされるようなプログラムを学科所属の学生のみを対象に開講しています。特に論理的思考力、課題解決力、自己表現力、チームワーク、指導力及び行動力を培える教育内容を取り入れています。

●幼児教育学科

本学科が掲げる教育目的とディプロマ・ポリシーのもと、「幼児教育分野」及び「保育分野」の2分野にわたって学べるように、「教養教育科目」「専門教育科目」からなる教育課程を編成しています。

「教養教育科目」は教育・保育者になるための基礎となるような科目群であり、「専門教育科目」は教育職員免許法・児童福祉法施行規則に基づいた教員免許状・保育士資格取得のための科目区分に従って分類しています。

また、専門教育だけに偏ることなく幅広い教養と豊かな人間性を養うように工夫された科目群です。

これらの科目を、学生一人ひとりが自らのキャリアプランに則して履修し、幅広い教養と豊かな人間性を養い、教育・保育についての理論と実践を身につけることをめざします。

2. ディプロマ・ポリシー（卒業認定、学位授与に関する方針）

・卒業の認定

学科が定める修業年限以上在学し、教養教育科目・基礎専門科目及び専門教育科目を学科が掲げる目的や履修方法に従って所定の単位数以上を修得し、幅広い教養と深い専門性を修めた者に対し、学長が卒業を認定します。

また、自由科目を履修し、単位を修得した場合、10単位を超えない範囲で、卒業に必要な単位数に含めることができます。

・学位授与の方針

学科での卒業が認定された者には、専門分野の名称を付記した短期大学士の学位を授与します。